



新年おめでとうございます

皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます。



2009年(平成21年)元旦

京都外国語大学附属図書館
京都外国語短期大学附属図書館

図書館フォーラム「僕たちが残したものを、私たちが残すもの ～時を超えて～」を開催しました

本学図書館は、昨年の11月2日(日)に第2閲覧室において、通算10回目となる学園祭協賛行事「フォーラム 学生と図書館」を開催しました。

今回のテーマは「僕たちが残したものを、私たちが残すもの ～時を超えて～」で、手作りの絵本をカンボジアの子どもたちに贈るグループであるP.C.C.の会長の青野有里子さん(英米語学科3年次生)と同P.C.C.書記の谷口有希さん(日本語学科2年次生)、また卒業生で10年前にタイムカプセルの保存を図書館に託した中川伸作さん(第40回外大祭実行委員長)と同じく吉田修吾さん(第41回外大祭実行委員長)の4名に発表していただきました。

まず、青野さんと谷口さんは、P.C.C. (Picture Books for Cambodian Children) のメンバーを代表して自分たちの創った絵本をカンボジアに行って子どもたちに手渡した活動について画像を使って報告し、フォーラムの参加者から強い感動を得ていました。

次に行われた「タイムカプセル返還式」では、中川さんと吉田さんが10年前のタイムカプセルの企画について、様々なものや文章を入れた夢や思い出を語りました。これを受けて、当時の外大祭実行委員会からタイムカプセルをお預かりした図書館の萬田悦生元館長が、当時の学生と図書館の協力関係やその後の本学の発展の様子を述べました。こうして、詰めかけた多くの卒業生が見守る中、館内で厳重に保管していたタイムカプセルを下村秀則図書館長が中川さんと吉田さんにお返しし、今回のテーマである「時を超えて」に相応しい締めくくりとなりました。(17pと28p～29pに関連記事)



2008年度ノーベル文学賞受賞者

ジャン・マリ・ギュスターヴ・ル・クレジオ氏の作品を収集しました

本学図書館では、2008年度ノーベル文学賞をフランスのジャン・マリ・ギュスターヴ・ル・クレジオ氏が受賞したことに伴い、本学図書館が公開している「データベース・ノーベル文学賞」に作品と研究書を追加しました。このデータベースは平成15年度に和書と洋書あわせて3,500冊を集めてスタートしたもので、1901年度第1回受賞者であるフランスの詩人シュリ・プリュドム氏から1968年度受賞者川端康成氏と1994年度受賞者大江健三郎氏を含む、2008年度受賞者であるフランスの作家ル・クレジオ氏まで105名の受賞者の作品を検索できます。検索対象となる蔵書は5,000冊を超えました。今後もこの関係図書の収集を続けていく方針です。